

式 辞

春の暖かな日差しが、木々の芽吹きを促す季節になりました。

本日、この佳き日に、多くのご来賓の皆様方、保護者の皆様方にご臨席を賜り、ここに平成31年度埼玉県立川口工業高等学校 第72回入学式を挙行できますことは、私共関係者一同大きな喜びでございます。ご臨席の皆様方に心からお礼を申し上げます。

先ほど入学を許可しました239名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。保護者の皆様方、お子さまのご入学、心よりお祝いを申し上げます。

さて、本校は昭和12年、埼玉県立川口工業学校として開校以来、「誠実、創造、勤労」を校訓とし、また目指す学校像「地域産業の発展に寄与できる、心豊かな技術者の育成」として日々の教育活動の実践に取り組んでおります。今年度創立82年目を迎えますが、この間、工業高校の名門として、文武にわたり数多くの成果を挙げてまいりました。また、地域社会に貢献する有為な人材として1万8千名に迫る卒業生を輩出し、その活躍と実績は、産業界においても高く評価されております。

川口工業高等学校の生徒として第一歩を踏み出す新入生の皆さんには、諸先輩方が築いた本校の伝統を引き継ぎ、更に発展させてくれることを期待しております。

そこで、高校生としてのスタートにあたり、皆さんにひとつの言葉を贈ります。

それは、「リスペクト(respect)」です。

聞いたことがあるとは思いますが、敬意を払う、大切に作る、尊敬、尊重という意味の単語です。

新しい学校、新しい先生方、新しいクラスメート、それぞれの新しい出会いに直面して、皆さんは多くの不安を抱えているのではないのでしょうか。そんな時に皆さんがお互いに敬意を払い、相手を尊重した態度で接してもらえれば、その不安も払拭されることでしょう。そんなリスペクトの気持ちをあらわす具体的な行動として、まずは元気よくあいさつすることからはじめて欲しいと思います。「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」「ありがとう」、このような言葉がリスペクトの気持ちを持った人達から発せられれば、相手にも必ず通じることでしょう。

またこのリスペクトの気持ちは、人だけではなく物に対しても同じです。例えば、皆さんはこれから様々な実習に取り組み、たくさんの道具や機械・コンピューターなどを使っていくでしょう。これらの道具類には昔から使い続けている物も数多くあります。ものづくりを担う技術者・エンジニアにとって、道具類は最も大切に扱わなければならないものです。なぜなら、実社会において、これらにほんのわずかでも誤差が生じてしまったら、それが受注した製品の誤差に直結してしまい、今後の取引ができなくなってしまうたり、最終的に、企業の信頼を失ってしまうりするからです。皆さんの先輩方はそのことを指導され、よく理解していたので、道具類にもリスペクトの気持ちを持って、とても大切に取り扱いってきました。

これから始まる3年間の高校生活では、リスペクトの気持ちを失わず、「令和」という新しい時代を生きていく為の人間力を鍛え上げ、将来、日本のものづくりを担う技術者・エンジニアとして社会に貢献できる人間になることを目指して、ひたむきな努力を継続してもらいたいと思います。

保護者の皆様に申し上げます。

学校教育には、学校と家庭の相互理解が不可欠です。学校と家庭とが車の両輪のようになってはじめて、お子様の真の成長が図れるものと考えております。保護者の皆様におかれましては、本校の教育活動にご理解とご協力をしていただくとともに、これからも引き続き温かいまなざしで、お子様の成長を見守り続けていただければと存じます。その中でお困りの事、気がついた点などございましたら、遠慮することなく、学校との連携を密にさせていただきますよう、お願いいたします。

結びに、ご来賓の皆様方に重ねてお礼を申し上げますとともに、新入生の皆さんは今日の感動と新鮮な気持ちをいつまでも持ち続け、心身共に健康で、有意義な高校生活を送られますよう、心から期待し、式辞といたします。

平成31年4月8日

埼玉県立川口工業高等学校長 田中邦典